



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2000 : ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

「ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続」

1999～2000年度・国際ロータリーテーマ／カルロ・ラビッツア会長

「皆のロータリー—新しい発想と実践」

1999～2000年度・東京新南ロータリークラブテーマ／渡部 元会長

本日の例会 6月30日 第661回例会

「退任の挨拶」

会長 渡部 一元君
副会長 西澤 正雄君
幹事 小杉 眞史君

退任のご挨拶

会長 渡部 一元

本年度は新たなミレニアム元年、その節目の年に、大過なく一年を過ごし、良い思い出を残せたのも、偏に西澤副会長、小杉(眞)幹事、理事、役員、委員長、副委員長、各委員の皆さんのお陰であり、改めて厚く御礼を申し上げます。その結果、栄えある「ガバナー賞」および「RI会長賞」を受賞、誠に喜ばしい限りである。

本年度のテーマ「皆のロータリー 新しい発想と実践」の基に多くのプログラム・行事が行われた。そのいくつかを振り返ってみよう。

社会奉仕委員会は、地域社会調査委員会と協力して、教育分野への取り組みを達成した。さらに臓器移植関連の団体への支援、卓話を通じ、理解と認識を深めた。

広報委員会は、港区内のミニコミを通し広報活動をした。

環境保全委員会は、クラブ会員と2750地区のクラブに対し、環境に関するアンケート調査し、その結果を卓話で発表した。

また、本年度のIM・Cグループの運営は、当クラブが担当した。西澤副会長を中心に、ロータリーはホテルという安易な観念を打破し、大幅に経費を削減した。

親睦活動委員会はロータリーのバックボーン。火曜会を始め、その動員力、企画力、実行力は感嘆に値するものであった。

職業奉仕委員会は、ガバナー公式訪問のクラブ協議会でその役目を果たした。国際奉仕委員会はIM・Cグループの総合司会、意見発表を着実に遂行した。

青少年交換委員会と関係者の皆さんには、大変ご苦労かけている。会員増強委員会にもご苦労をかけた。その一方で、佐藤元会長の逝去、何人かの退会者が出、痛恨の極みである。

ロータリー情報委員会はクラブセミナーの他、女性会員の今日のテーマを取り上げた。会報委員会は新たな編集、印刷を取り入れた。

プログラム委員会は会報委員同様、毎週の番。SAAは例会時の時間厳守と食事の工夫。ソングリーダーは毎週、雑誌委員会は毎月、出席委員会は随時、役割を果たした。

単年度のロータリーにあって、上記の充実した一期一会を共に喜びたい。そしてそれを終始支えてくれた小杉(眞)幹事に言葉では尽くせない感謝の念を捧げ、結びとする。

副会長 西澤 正雄

こんな大役が、果たして務まるのだろうかと忸怩たる思いで一年が経ってしまいました。なによりも支えになったのは、小湊前副会長の名言「わがクラブは、真面目、一生懸命そして紳士的、もう少し気楽なところがあっても良いのでは」であり、専ら「気楽担当」ということでつとめてきたつもりです。

幸い本当に真面目で一生懸命の会長と、紳士的で気配りのやり手幹事のもと、そしてすばらしい委員長、委員方に囲まれて「皆のロータリー、楽しいロータリー」をテーマに大変順調に運営され、黒子としての役割も楽しくやらせて頂きました。多くのみなさん方の熱意とご努力のおかげで、例会ではすばらしいピアノ演奏をききながら、楽しくみなさんにお目にかかれましたのも、ご苦心して頂いたプログラム、盛りだくさんの家族会、旅行、ゴルフ会、火曜会など思い出に残る一年でしたし、毎週の会報も待ち遠しい思いだったのは、私ばかりではなかったと思います。

会長代行で参加したIMの事前打合せでは、他クラブの会長、幹事方と本音でお話が出来、これからのロータリーについて示唆を得る貴重な経験だったように思います。

それにつけても故佐藤会員のご逝去は、残念の極みでした。いつものやさしいお人柄を偲び、冥福をお祈りする次第です。

この一年ご協力有り難うございました。当クラブが益々楽しく、明るくそしてさわやかに発展していくことを願ってやみません。

幹事 小杉 眞史

幹事をお引き受けて少々、軽率ではなかったかとの反省をしつつクラブ運営に携わりましたが、色々勉強になりました。

数々の問題の中で、会員の皆様の人間性、価値観、クラブに対する思い入れ等、夫々の考え方があり、その調整は難しいものだと実感しました。委員会活動については、各委員長の頑張によりその責務と成果があげられたものと敬意を表します。世の中が凡ゆる所で変わって行くのにロータリーの中には前例に倣う体質がありましたが、臨機応変の措置をとらせて頂きました。

例えば南クラブとの事です。第一例会に相互のクラブに表敬訪問する事を止めた事等です。南クラブは親クラブなので、敬意を表するというお考えもありましたが、南クラブ大西幹事と何度も打合わせをし、記念行事や特別のイベントは別として、無駄なことは止めようという考えで進めました。

又、今年度のIMは形式にとらわれず、経費削減を旨として実施しました。当クラブの主張も大きく特に副会長の西澤さん、川鍋さん、佐々木委員長のご協力は千代田分区各クラブの幹事の方々から絶賛を頂戴しました。

幹事として一番辛かったのは、会員がお辞めになることです。クラブ重鎮の佐藤さんがお亡くなりになり、更に宮武直前会長をはじめ、クラブの大黒柱である宮本さんまで退会届けを出されるという事態には驚きました。個人のご事情を尊重すればするほど、幹事の力では如何ともしがたく、皆様方から精一杯慰留説得をして頂きましたが、退会のご意志が固く残念でなりません。

一方嬉しい話としては6名の新会員の方々が入会されました。心より歓迎申し上げ、末永くクラブライフを満喫し、親睦を深め、ロータリー精神を早く身につけて頂きたいと存じます。

最後に、会長をはじめとする理事役員の皆様、各委員長、会員の皆様、そして事務局の山中さんの暖かいご支援があったからこそロータリー歴の浅い私でも幹事が務まると深く感謝する次第です。当クラブが会員全員に愛されるロータリークラブになっていくことを願って退任のご挨拶とします。

◎会長報告

①第2750地区小林ガバナーより、この度2000-2001年度RI理事会は、RI理事・紫野巖氏が2000年1月に逝去された為、その後空席になっていたRI理事に、東京銀座ロータリークラブ会員の丸山宏氏が残存期間を務める理事として選出されました。との報告を頂きました。

②「ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続」のRI会長賞を受賞しました。

③6月末で退会される宮武保義元会長、柴藤清三郎会員よりご挨拶がありました。

◎社会奉仕委員会報告（荒木委員長）

「使用済み切手・テレカ等」は6月19日港区社会福祉協議会へお届けしました。ご協力ありがとうございました。

◎次期親睦活動委員会報告（新保委員長）

新年度初「火曜会」を7月4日（火）18:00～全日空ホテル37Fアストラルで開催します。

◎慶事披露

100%出席／加藤 昌明君（10年）村山 公士君（5年）

◎出席報告

会員72名・出席46名・欠席26名（出席規定免除者6名）
ゲスト1名（塩屋 隆男氏／アイメイト協会専務理事）
会友1名（沖 宏之氏）



6月23日／8件 45,000円
99～2000年度累計 1,914,046円
多額の御寄付を有難うございました。

沖 宏之（会友）／小澁先生お世話になりました。皆様ご無沙汰しました。宮武 保義／柴藤 清三郎／大変お世話になりました。荒木 昭文／高橋雅枝さん、塩屋隆男さん雨の中をおこしいだき有り難うございます。開発 英基／大変お世話になりました。武下 朗／渡部一元会長、幹事・次期会長・会長と3年間、1番テーブルほんとうにごくろう様でした。川鍋 二郎／先週、誕生日プレゼントありがとうございました。立林さんニコニコご苦労さまです。鈴木 康一／ベトナムに1週間いました。その熱気に触れあらためて“アジアの時代”を感じています。田村 廣治／娘の誕生祝16歳です。17歳に近づいています。山下 忠治／立林さん先日オペラの話、ありがとうございました。馬場 一廣／メイキャップばかりですみません。相澤 成憲／先週クラブ協議会を欠席、次期山下会長はじめ後藤さんお世話になりました。加藤 昌明／本日は早退します。10年皆勤祝有難うございます。鈴木 重徳／早退しますので。圓谷 正和／どこかの国の首相ではないですが、皆さん発言には気を付けましょう。立林 英昭／宮武さんありがとうございました。先週と今週入沢 SAA の替わりを務めました。

[順不同・敬称略]

次週予告 7月7日 第662回例会 「新任の挨拶」

2000-2001年度 会長 山下 忠治君
2000-2001年度 副会長 加藤 昌明君
2000-2001年度 幹事 梶内 滋男君

東京新南ロータリークラブ

会長：渡部一元 副会長：西澤正雄 幹事：小杉真史
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日：毎週金曜日 12時30分

例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

93～94年度 社会奉仕委員長 田中 武

1993～1994年度社会奉仕委員会では94年2月に盲導犬・新南3号実現のためにチャリティーコンサートをサントリー小ホールで開催、その収益金を原資にアイメイト協会にアイメイト新南3号育成資金を寄付しました。昨夏に荒木社会奉仕委員長の企画で会員有志がアイメイト協会を訪れ、見学と盲導犬を使用しての歩行体験を致しました。先週の卓話にはアイメイト新南3号（ナイル）使用者である武蔵野音楽大学ピアノ科3年生・高橋雅枝さんのお話を伺うことができました。

初めての歩行訓練では杖を使用していたときに比べ「風を切るような速さ」を体感し、ナイルとの生活では「一人ではない心強さ」やお腹がゴロゴロ鳴るのを心配して「子育てのお母さん



ナイルを中心に

の気持ち」になったり、「学校ではナイルが主役で自分が脇役」でちょっぴり嫉妬を感じたりと明るく、ユーモラスに盲導犬と視覚障害者の深いかわり、盲導犬の有用性について話して頂きました。

最後にお台場のレストランで入店拒否されたことを悲しそうに訴えておられました。かつて私たちのクラブでお迎えしたシュバイツァーのもとで研鑽された野村実先生は卓話の中で人間社会では何万分の1の確率で障害者が生まれる。健全者は「私たちの代わりに障害者が重荷を負っている」と考えるべきだと述べられたのが印象的でした。

全国の会員名簿からレストランやそれに類似する業種のオーナーに盲導犬を受け入れるように働きかけ、同意していただいた施設にはステッカーを掲示し、このステッカーが一つのステータスになりロータリアンがオーナーではない施設にも浸透する……という運動を新南から発信するというアイデアはいかがでしょうか？

ロータリーの活動は智恵を出す、汗を流す、智恵も汗も出したくなければお金を出す。決して理論だけに終始せず、活動することが望まれるのではないのでしょうか。

2000年6月臨時理事会議事録

と き 6月23日（金）例会前（持ち回り）
ところ 東京全日空ホテル 地階 八雲の間（例会場）
出席者 渡部、荒木、佐々木、関、山下、吉岡、川鍋、小杉（真）（順不同・敬称略）

決議事項

1. 退会希望の件／柴藤清三郎君
福岡移転のため同君の退会を2000年6月30日付で承認。

本号で本年度会報委員会の任務は終了しました。
一年間のご愛読とご協力感谢您いたします。

会報委員会一同

<会報委員>

相澤 成憲、福島 賢哉、後藤 信夫、
後藤 完夫、加藤 昌明、清原 元輔、
村山 公士、田中 武、圓谷 正和、
保森 登、吉岡 琢磨、吉田 武